授業科目	神経系医学（神経系の構造、機能、病態）				
担 当 者	宮井和政				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	1年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

神経系は、感覚の受容、情報の処理、効果器への指令を行う器官系であり、環境の変化に応じた反応を引き起こすために欠かせない情報伝達を担う。神経系は機能が部位ごとに異なり（機能局在）、その部位ごとが決まった経路で連絡している（伝導路）ので、神経系の働きと病態を理解するためには、主な機能局在と伝導路を把握する必要がある。この授業では、機能局在と伝導路に主眼を置いて、中枢神経系と末梢神経系の基本的な構造と機能について病態とも関連させて学習する。

■ 到 達 目 標

・神経細胞の形態と情報伝達のしくみを理解できる。
・脳と脊髄の構造と機能、および主要な伝導路を理解できる。
・脳神経、脊髄神経、自律神経系の構造と機能を理解できる。
・中枢および末梢神経系の病態と検査の概要を理解できる。

■ 授 業 計 画

第１回　神経組織・神経伝導のしくみ
第２回　神経系の概要と分類
第３回　脊髄の構造と機能
第４回　脳幹の構造と機能
第５回　間脳の構造と機能
第６回　小脳および大脳基底核の構造と機能
第７回　大脳辺縁系の構造と機能
第８回　大脳皮質の構造と機能
第９回　伝導路
第10回　脳血液循環と脳脊髄液
第11回　脳神経の構造と機能（1）
第12回　脳神経の構造と機能（2）
第13回　脊髄神経の構造と機能
第14回　自律神経系の構造と機能
第15回　中枢／末梢神経系の病態と画像検査

■ 評 価 方 法

筆記試験　100％

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各授業の前に授業項目に該当する教科書の単元を予め通読（予習）しておくこと。また、授業後は各回に配布する小テストに解答できるように復習しておくこと。

■ 教　科　書

書　名：　絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム（第４版）
著者名：　馬場 元毅
出版社：　医学書院

■ 参考図書

書　名：ブルーメンフェルト　カラー神経解剖学　- 臨床例と画像鑑別診断 -
著者名：ハル・ブルーメンフェルト（安原 治 訳）
出版社：西村書店

■ 留意事項

不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。